

H A R D O C

県民・事業者・行政が一体となって

トライアングル

第 19 号

兵庫県フロン回収・処理推進協議会
広 報 紙
1999.7.30 発行
編集発行 推進協議会事務局

フロン回収時には記録をつけよう！

会員の皆様には、フロンの回収・処理にご協力いただき、ありがとうございます。

ここで、皆様にお聞きしますが、フロンを回収する際には「回収記録」を付けていらっしゃるでしょうか。

兵庫県の「環境の保全と創造に関する条例」において、「特定フロンを大気中に放出してはならない」と定められていることは、すでにご存知だと思います。

また、この条例の中で「特定物質（現状では「特定フロン」のこと）排出防止基準」が定められており、その第4項にこう書かれています。

「修理・廃棄事業者が、3の措置（修理または廃棄するときに、冷媒フロンを回収すること）を講じたときは、排出防止基準の遵守状況を把握することができるための措置を講ずること」

つまり、「フロンを回収する際には、回収記録をつけて、回収状況を把握してください」ということです。

実際は、フロン回収だけでも大変な手間がかかりますので、回収記録まで手が回らない方も多いと思います。しかし、回収状況を把握しておくことは、回収依頼をされたお客様に対する責任でもありますので、ぜひ、回収記録をつけていただくようお願いします。

なお、ここでは回収記録簿の記入例を紹介しますが、特に様式が決まっているわけではありませんので、使いやすい様式でご記入ください。

(1) 廃家電品等の場合

フロン回収状況記録簿 (平成 年 月 ~ 平成 年 月)

月・日	機器の種類	フロンの有無	フロンの種類	台数	回収量 (kg)	担当者	備考
8・2	冷蔵庫	無	-	3	-	兵庫二郎	ガス抜け
"	冷蔵庫	有	R12	10	1.0	"	
"	自動販売機	有	R22	5	1.0	"	
8・3	ルームエアコン	無	-	4	-	兵庫二郎	ガス抜け
"	冷蔵庫	有	R12	12	1.2	"	

(2) カーエアコンの場合

フロン回収状況記録簿 (平成 年 月 ~ 平成 年 月)

月・日	機器の種類	フロンの有無	フロンの種類	台数	回収量 (kg)	担当者	備考
8・2	自動車修理	有	R12	8	-	富論海舟	すべて戻す
"	自動車廃車	有	R12	5	2.5	"	
"	自動車廃車	有	R134a	2	1.0	"	
8・3	自動車廃車	有	R12	5	2.5	富論海舟	

フロン回収量 = ボンベ全重量 - ボンベ本体重量 (刻印wの値) - 0.5kg(バルブの重量)

フロン回収装置 & ボンベ リース情報

1. フロン回収装置

(1) 回収装置リース状況 (平成11年7月15日現在)

リース先	リース台数	うち据置型	うち車載型	備 考
自動車解体処理事業者	10台	10台	0台	
冷凍空調工事業者	7台	7台	0台	
廃棄物処理業者	23台	22台	1台	
計	40台	39台	1台	

(2) リース可能回収装置

カーエアコン専用の据置型回収装置 (ジャテック製 17400) が1台あります。

希望者が多い場合は抽選となります。

(3) リースに関する注意事項

リース料金には、修理、メンテナンス費用は含みません(使用者負担になります)。

リースされた回収装置の搬送費用は、リース会員の負担となります。

リース期間は、お申込みから6ヶ月以上で、最大平成12年3月末日までとなります。それ以降もリースを希望する場合は継続申請することができます。

回収装置のリースが決定された場合、リース期間内に当推進協議会の「回収フロン処理システム」を利用して、フロンの破壊処理をしてください。

年2回、フロンの回収状況の報告をお願いしますので、フロンの回収量、破壊処理量は把握しておいてください。

または ができない場合は、リース期間満了後、継続してリースをする事が出来ません。

2. フロン回収用ボンベ

ボンベリースおよび在庫状況（平成11年7月15日現在）

区分	回収装置メーカー	容量	フロン名	リース累計	在庫本数	備考
専用	中島自動車電装	20kg	1 2	3 5 本	1 1 本	回収装置の専用 ボンベ
	中島自動車電装	20kg	2 2	2 2 本	0 本	
	ジャテック	20kg	1 2	5 本	0 本	
	マツダ産業	20kg	1 2	0 本	1 本	
	日立オートシステムズ	10kg	1 2	2 本	0 本	
	トキメック	20kg	1 2	1 本	0 本	
汎用		10kg	1 2	0 本	0 本	サイフォン付き、 2口ボンベ
		10kg	2 2	1 本	0 本	
		20kg	1 2	8 7 本	4 0 本	
		20kg	2 2	7 3 本	2 6 本	
		20kg	5 0 2	3 本	6 4 本	
計				2 2 9 本	1 4 2 本	

汎用ボンベとは、一般に使われているボンベのことで、お持ちの回収装置に合うとは限りません。もしもリースしたボンベが回収装置に接続できなかった場合は、取引のある高圧ガス取り扱い業者にご相談ください。

現在、耐圧検査期限の切れるボンベについては、検査を受けているところです。検査の終了までは2ヶ月程度期間を必要とします。

代替フロン（HFC134a）回収用のボンベもリースできます

トライアングル第17号においてお知らせしたとおり、平成11年1月25日からHFC134aも、現行の回収フロン処理システムで試行的に取扱っております。

実際に、わずかではありますが、HFC134aの処理依頼も出ております。

ところが、今までリース用のボンベには「HFC134a」を取扱えるものがなく、会員の皆様にはご迷惑をおかけしました。

そこで、このたび、「HFC134a」を取扱えるボンベも入荷しましたので、ぜひご利用ください。

ただし、まだまだ本数が少ないため、しばらくは1会員につき1本のみとさせていただきますが、リースの状況や今後ボンベを増やす予定でもありますので、徐々に増やしていきたいと考えております。

ボンベリースに関する注意事項

ボンベは正しく返却しましょう！

リースしたボンベには、貴社の名前を記載していただき、使用していただいていることと思います。

しかし、リース期間が満了し、ボンベを返却する際には必ず貴社の名前を消してください。返却後、別の会員にリースしますので、確実に消すようにしてください。

あまりにもひどい場合は、ボンベを弁償していただく場合があります。

また、ボンベ返却の意思を確認したにもかかわらず、なかなか返却していただけない方もいます。ひどい場合は、追加料金を徴収したり、今後はリースを行わないなどの処置をとりますので、ボンベを返却する際には、空になったボンベを速やかに返却願います。

フロンの過充填をしないでください！

ボンベにガスを充填する際には、過充填をしないでください。

これから夏に向けて暑くなってきますので、ボンベ内のガスが膨張します。このため、過充填したボンベは破裂する恐れがあります。

処理システム上で、過充填による破裂が起こり、それが事故につながった場合は、過充填をした処理依頼者が責任を問われます。

耐圧検査を受けましょう

高圧ガス保安法により、ボンベは6年ごとに耐圧検査を受けなければなりません。

期限が切れているボンベは、速やかに耐圧検査を受けるようお願いします。

なお、当推進協議会がリースしておりますボンベは、リース期間内は期限が切れないものを用意しておりますが、万が一、期限が切れているものがありましたら至急事務局までご連絡ください。

また、現在リース中のボンベを継続してリースしたい場合でも、継続リース期間内に期限が切れるようなボンベについては、継続してリースを行うことはできません。これはリース中の回収装置に附属しているボンベでも同様です。

一度、お持ちのボンベの最新耐圧年月（ボンベに刻印してあります）をご確認ください。

平成 1 1 年度通常総会 開催！

当推進協議会の平成 1 1 年度通常総会が、去る平成 1 1 年 6 月 1 5 日、兵庫県民会館 1 1 階ホールにおいて、環境庁大気保全局広域大気管理室 一瀬 室長を迎えて開催されました。

ここでは、その概要を報告させていただきます。

[総会の写真]

<平成 1 1 年度通常総会 概要>

- 1 . 日 時 平成 1 1 年 6 月 1 5 日 (火) 1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0
- 2 . 場 所 兵庫県民会館 1 1 階ホール
- 3 . 出席者

出席者	9 8 会 員	(1 0 1 名)
委任状	2 7 2 会 員	
計	3 7 0 会 員	

規約上必要な定足数 3 1 3 (総会員数 6 2 6 の 1 / 2 以上)

4 . 議 事

(1) 議案

- 第 1 号議案 平成 1 0 年度事業報告並びに収支決算に関する件
- 第 2 号議案 平成 1 1 年度事業計画に関する件
- 第 3 号議案 平成 1 1 年度収支予算に関する件
- 第 4 号議案 役員を選任に関する件

(2) 報告事項

- 報告事項 1 会員の入会に関する件
- 報告事項 2 リースに関する実施要領の変更に関する件
- 報告事項 3 平成 1 1 年度フロン回収促進計画に関する件

5 . 結 果

- (1) すべての議案について、出席会員全員の賛成により承認されました。
- (2) 報告事項についても、出席会員全員により承認されました。

6 . 特別講演

平成 1 1 年度通常総会終了後、「地球環境問題の動向とフロン回収について」をテーマに、オゾン層保護対策産業協議会の原 穆 事務局長から特別講演をいただきました。

< 平成 1 1 年度新役員 >

兵庫県フロン回収・処理推進協議会 役員名簿

(平成 1 1 年 6 月 1 5 日現在)

役職名	氏名	所属団体・役職名
会 長	貝原俊民	兵庫県知事
常務理事	山本忠幸	兵庫県高圧ガス協同組合理事保安委員長
常務理事	小林悦夫	兵庫県生活文化部環境局局長
理 事	木村正人	生活協同組合コ - プこうべ組合長理事
理 事	下井 満	社団法人兵庫県空調衛生工業協会会長
理 事	八木直彦	兵庫県高圧ガス協同組合理事長
理 事	芝 富男	社団法人兵庫県産業廃棄物協会会長
理 事	多田幸四郎	兵庫県自動車リサイクル処理工業会会長
理 事	橋本一豊	社団法人兵庫県自動車整備振興会会長
理 事	西 和之	兵庫県自動車車体整備協同組合副理事長
理 事	中山雅夫	兵庫県自動車電装品整備商工組合理事長
理 事	真島和彦	兵庫県自動車販売店協会会長
理 事	西田田鶴子	兵庫県消費者団体連絡協議会副会長
理 事	中江隆吉	兵庫県中古自動車販売商工組合理事長
理 事	山下賢二	兵庫県中古自動車部品協同組合理事長
理 事	進藤 隆	兵庫県廃家電品適正処理協力協議会会長
理 事	竹田剛男	兵庫県冷蔵倉庫協会会長
理 事	山田 勉	兵庫県冷凍空調設備工業会会長
理 事	帯山 清	兵庫県冷凍設備保安協会会長
理 事	笹山幸俊	神戸市長
理 事	堀川和洋	姫路市長
理 事	宮田良雄	尼崎市長
監 事	馬場順三	西宮市長
監 事	衣笠徹朗	佐用郡広域行政事務組合管理者

「フロン回収促進計画」について

平成11年度通常総会の席で、「平成11年度フロン回収促進計画」について報告させていただきました。

この計画では、「当協議会、関係団体が普及啓発を行い、関係事業者がフロン回収を促進し、市町が自らフロン回収を率先して行い、地域住民に対して普及啓発を行う」こととなっており、平成12年3月開催の各専門委員会において、取り組み内容を評価します。

現在、各関係団体が普及啓発を行っていただくため、啓発用パンフレット「フロンを回収しよう！」を8,700部、当推進協議会の案内を7,000部増刷し、各関係団体に送付させていただいたところです。各関係団体の皆様には、これらパンフレット類を有効に活用していただくようお願いします。

また、会員の皆様には、より一層フロン回収にご協力をお願いします。

なお、啓発用パンフレット、協議会の案内については、まだ余部がございますので、ご希望の方は事務局までご連絡をお願いします。

事務局だより

予定よりも少し遅れましたが、トライアングル第19号をお届けします。

平成11年9月には「フロン回収技術講習会」の開催を予定しておりますが、詳細はまだ未定ですので、決まり次第会員の皆様にはお知らせいたします。

例年は、県が主催するオゾン層保護セミナーの中で実施しておりましたが、今年は協議会が単独で行うこととなっております。フロンの回収をされている会員の方は、ぜひ出席していただくようお願いします。

また、10月にはエコフェスティバルに出展することとなっておりますので、こちらについても決まり次第お知らせいたします。

パンフレット類を希望の方は、まだ余部がございますので、事務局までご連絡ください。

兵庫県フロン回収・処理推進協議会

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1（兵庫県生活文化部環境局大気課内）

TEL (078) 362-3284 FAX (078) 362-3966

<http://www.bekkoame.or.jp/ro/fron>